プール・体育館棟（１階） 機械室１にある注入タンクユニットについて

室内に設置されている注入タンクユニット（全３基）
- A　ポリ塩化アルミニウム用注入タンクユニット
- B　次亜塩索ナトリウム用注入タンクユニット
- C　次亜塩素ナトリウム用注入タンクユニット

A　ポリ塩化アルミニウム（表記名：ＰＡＣ）

①　設置場所
室内奥にある雨水フィルターの横

②　用途
雨水貯水槽に貯められた雨水に混ざっているチリなどを凝縮し、雨水の濁りなどを取り除く

③　タンクユニットの動作について
ろ過ポンプと連動し運転し、タンク内の薬液はろ過装置の入り口配管に注入される。

B　次亜塩素酸ナトリウム（表記名：次亜塩素）

①　設置場所
室内奥にある雨水フィルターの奥

②　用途
雨水貯水槽に貯められた雨水の最初の殺菌

③　タンクユニットの勤作について
ろ過ポンプと連動し運転し、タンク内の薬液はろ過装置の入り口配管に注入される。

C　次亜塩素酸ナトリウム（表記名：次亜塩素）

①　設置場所
出入口扉の傍

②　用途
校舎へ送水される前の最後の殺菌

③　タンクユニツトの動作について
ろ過後の第２貯水槽へ自動で注入される。

※一の薬剤取り扱いについて気を付ける点
ボリ塩化アルミニウムと次亜塩素酸ナトリウムは直接混合すると，猛毒の塩素ガスが発生する。絶対に直接混合をしないように、決められたタンクへ投入すること。

学校機械室設備配置図

②の写真中央水色が（⑤の濾過器）、3機の薬液自動投入機㋐㋑㋒、その右に⑥の雨水スクリーン、オレンジ矢印で地下水槽が２分割され、雨水スクリーンでおおまかなゴミを除去し、水槽の右側に溜め、PAC（凝集剤）塩素を投入。その後、濾過器を経て滅菌、濾過された水（中水道）が左側の水槽に溜められ、校舎棟１階トイレ用として使用される。その時③雨水処理水ポンプで送水される時にも②㋐の塩素で殺菌される。
ヘアーキャッチャーは緊急補給用として、プール水を直接利用する様になっている為、その時のゴミ取りで雨水処理設備には関連しない。　点検マンホールは各水槽に２箇所。

※　ポリ塩化アルミニウム　濾過機内の濾材を通過する様な小さなゴミを凝集し濾過器へ
※　ヘアーキャッチャー　　ヘアー、綿くず等を採取した後濾過器へ

① 貯留槽設置場所

② 機械室入口から撮影、薬液投入機
塩素　㋐　㋑　㋒PAC　（ポリ塩化アルミニウム）

貯留槽点検マンホール

③ 雨水処理水ポンプ　緊急補給（プール水）

④ ヘアーキャッチャー

⑤ 濾過器

⑥ 雨水スクリーン